

侵略的外来種に関するG7ワークショップと関連イベント

- 侵略的外来種はIPBES※生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書において、**生物多様性の損失を引き起こす五大直接的要因の一つ**と指摘されている。
- 国境を越えた侵略的外来種の移動の増加に対処するための国際協力強化の必要性に鑑み、「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合」の成果文書に、昆明・モンリオール生物多様性枠組のT6の実施を加速するため、**IPBES 侵略的外来種評価報告書から提供される主要な知見と有用な科学情報をもとに行動すること**、および、**侵略的外来種に関するG7ワークショップを開催することが盛り込まれた。**
- これを受け、IPBES事務局とも協力しつつ、10月5日に**侵略的外来種に関する国際ウェビナー**を開催予定。さらに、**CBD SBSTTAにおけるサイドイベント**（10月中旬）や、**G7ワークショップ**（11月中旬）の開催を予定している。

<侵略的外来種に関する国際ウェビナー（案）>

※詳細は後日報道発表予定

- IPBES侵略的外来種評価報告書の主要なメッセージを昆明・モンリオール生物多様性枠組のターゲット6につなげるキックオフイベントとして、国際的な議論に効果的なインプットを行う。
- IPBES共同議長やCBD事務局、IUCNから侵略的外来種を取り巻く最近の国際的な議論に関する紹介や、TNFD、ASEAN生物多様性センター、イタリア政府による経験共有等がされる予定。

日時：10月5日（木）20:00-23:00（日本時間）

形式：一般公開、オンライン、英語（日本語同時配信予定）、後日アーカイブ予定

出演者：環境省、生物多様性条約事務局、IPBES共同議長、IUCN、TNFD、等（予定）

侵略的外来種に関するG7ワークショップと関連イベント

そのほかの今後のイベント（案）

<CBD SBSTTA25サイドイベント>

- 昆明・モントリオール生物多様性枠組（特にターゲット6）の採択や、侵略的外来種とその管理に関するテーマ別評価SPMの採択等、侵略的外来種をめぐる最近の世界的なトレンドを紹介。
- 出演者は、世界目標の達成に向けた国内取組の経験を共有し、さらに国際協力を強化するために必要な行動について議論予定。

日 時：10月中旬

形 式：対面（ナイロビ）・公開（SBSTTA25参加者）、英語、録画のアーカイブを検討中

出演者：環境省、生物多様性条約事務局、IPBES共同議長、IUCN、
ニュージーランド政府、南アフリカ政府 等（予定）

<侵略的外来種に関するG7ワークショップ>

- G7メンバーによる会合として11月中旬、東京近郊にて開催予定（調整中）。
- G7メンバー間で侵略的外来種対策に関する経験や行動を共有し、「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合」の成果文書に記載された内容（国・地域レベルでの情報共有、技術開発、民間参画を含む必要な措置）を中心に議論のうえ、国際連携を強化させるための侵略的外来種に関するG7の提言を作成する予定。